

一般質問通告書

令和8年第1回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいので、
会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和8年2月27日

議員氏名 片野治樹



海津市議会議長様

受領番号 第8号 受領日時 令和8年2月27日 15:20

要旨 キャッシュレス導入支援と事業者負担軽減について

要旨 文化イベントの質向上と財源確保の取組について

要旨 市キャラクターの統一的運用と関連グッズの販売促進について

質問相手 市長

海津市議第24号

質問内容



- ・キャッシュレス導入支援と事業者負担軽減について

国は、デジタル田園都市国家構想や観光DXなどにおいて、キャッシュレス決済の推進は重要な政策として位置づけ自治体や事業者への支援を進めています。

本市としても、こうした国の動向を踏まえ、市民の利便性を上げること、また、観光誘客に繋げるためにも市内全域でキャッシュレスの導入を推進していくことが重要であると考えます。

一方、キャッシュレスの推進は、消費者にとっては利便性が高まりますが、事業者にとっては、決済手数料などの負担増が経営を圧迫するという課題もあります。実際、市内中小事業所においても物価高騰が続く中で経営が厳しい中、決済手数料の負担が原因でキャッシュレスの取扱いを中止する事業所もあり、行政がキャッシュレスを戦略的に進めるのであれば事業所に対する支援も併せて考えていかなければならないと思います。

また、千代保稲荷神社や木曾三川公園など市内の観光地には年間を通じて多くの観光客が訪れておりますが、キャッシュレス決済に対応した店舗が十分とは言えないことも課題です。観光におけるキャッシュレス推進は、単なる支払い手段の追加だけでなく、観光客の消費意欲を逃さず地域消費の拡大を図るためにもキャッシュレス環境を整備することは重要です。特に、岐阜県はインバウンド需要が非常に高く、「日本らしい風景」、「独自の食文化」、「広大な自然」を兼ね備えている本市は今後、インバウンド集客を強化できるチャンスは大いにあることからキャッシュレス推進は欠かせない要素です。

さらに若年層は「財布を持たない」、「極限まで小さい財布にする」というスタイルが確実に定着しており、若年層にとってキャッシュレスはすでに便利なツールではなく、社会の標準インフラとなっています。子育て世代に選ばれるまちを目指し、UIターンを増やしたい本市においては、国の補助金を活用しながら、市の財政負担を抑えつつキャッシュレスを効果的に進めていくことはまちに若者を呼び戻すための必須施策とも言えます。

以上のことから、地域全体の経済を底上げし観光にも強いマーケットを構築するためには、消費喚起と併せて、地域の中小事業者を守りながら市内全域でキャッシュレス決済を推進していくことが重要であると考えております。

そこで、おたずねします。

1. キャッシュレス決済の現状と効果

市役所の窓口業務を中心にキャッシュレスを推進されています。地域全体でキャッシュレスを推進していくには、行政が率先して進めていく必要があると思いますが、本市におけるキャッシュレス決済導入の現状と、市としてどのような効果を確認しているのかお答えください

2. 今後のキャッシュレス推進策

国はキャッシュレス決済比率を4割程度、将来的には8割まで引き上げる目標を掲げており、地域経済の活性化や市民の利便性の向上のために、行政は市内全域でキャッシュレスを推進し、地域全体のデジタル化（DX）を底上げする役割を担っていると考えます。

高齢経営者など導入そのものに課題がある事業所がある中、国の政策動向や他自治体の事例を踏まえ、市として今後どのような推進策を検討しているのかお答えください。

3. 事業者負担への支援

市内事業所がキャッシュレス化にご協力頂けなければ、本市における経済の活性化やDXの推進は図れません。物価高騰対策であるエネルギー価格高騰対策支援や飼料価格高騰対策支援と同様に考え、キャッシュレス決済維持のための経費負担である決済手数料を支援し、キャッシュレス化が市内全域で推進されるよう国の補助金などを活用し支援してはいいかがでしょうか。

4. 観光地でのキャッシュレス環境整備

今年成功裡に終わった福フェスに市内外から多くの若者が本市に訪れてくれました。かいつふあんくらぶへの新たな加入もあり、今後ますます若年層を中心とした交流人口の拡大のためには市内観光地におけるキャッシュレスの導入を推進すべきと考えます。現在の観光地におけるキャッシュレス対応の現状と、観光戦略も含めた今後の導入促進の方針をお聞かせください。

・文化イベントの質向上と財源確保の取組について

本年度、市制施行 20 周年を記念して、福フェス、スカイランタン、杉並合唱団とかいづち合唱団のコラボコンサートなど、多くのイベントが市内で開催され、20 周年事業全体では延べ 1 万人を超える市民が参加するなど、大きな賑わいが生まれました。

これらのイベントは、市民が気軽に参加できる機会を提供し、地域の賑わいを創出する大きな役割を果たす一方で、ほとんどのイベントが無料で実施されており、本市が管理する文化施設の維持管理費（年間数千万円規模）やイベントの経費（費用対効果）とのバランスをどのように取るかが今後の課題となっています。無料であることは参加しやすさにつながりますが、文化事業を継続し、さらに質を上げていくためには、財源の確保という視点も避けて通れません。

近隣では、有料のコンサートや講演会を実施し、施設運営費の一部回収や文化事業の質向上につなげている例が見られます。また、「宝くじ文化公演」などの外部助成制度を活用し、著名アーティストの公演を市の負担を抑えながら実現している自治体も多くあります。

本市においても、来年度の福フェスの開催は主体を観光協会とし、有料で開催される方針が示されました。文化施設の持続可能な運営と質の高い文化事業の展開を両立させるためには、イベントの一部有料化だけでなく、外部助成制度の活用といった選択肢を検討する時期に来ているのではないかと考えます。市民負担を増やすことが目的ではなく、文化の価値を守り、未来につなげるための“持続可能な仕組みづくり”として、市の考えをおたずねします。

1. 20 周年記念イベントについて

20 周年イベントでは、市民参加の促進や地域活性化にどのような効果があったと評価しているのか。また、ほぼすべてを無料開催とした理由や、その判断が市としてどのような方針に基づくものだったのかをお答えください。

2. 文化・観光施設の維持管理費と財政負担について

本市の文化施設の維持管理には年間で数千万円規模の経費が必要であり、施設の老朽化に伴い、その経費は増大することが予想される。また、文化的行事についても人件費や物価高騰などにより経費も年々、増幅している。このような中、無料イベントを続けることで、施設運営や文化事業の継続性に財政的課題が生じると推察しますが、今後の持続可能な運営に向けて、どのような解決策を講じていくのかをお答えください。

3. 近隣自治体の有料イベントの事例について

近隣自治体では有料イベントを実施し、施設運営費の一部回収や文化事業の質向上につなげている。これらの事例を参考に本市においても文化事業を持続的に展開し、さらに質を上げていくためには、イベントの一部有料化も選択肢となり得ると考える。来年度開催予定の福フェスについては、有料開催の方針が示されました、主催を観光協会とし有料化とした理由や現時点での方向性、また、その他に有料化を検討したイベントの有無や、料金設定などの考え方についてお答えください。また、併せて、市民理解を得るための説明や周知の方法について、どのように考えているのかをお答えください。

4. 宝くじ文化公演など外部助成制度の活用について

宝くじ文化公演は、市の負担を抑えながら質の高い公演を実施できる制度であり、多くの自治体が活用している。本市での過去の活用状況や、今後の活用可能性について伺う。また、助成制度を活用した場合、市の財政負担軽減や文化事業の質向上にどの程度寄与す

ると見込めるのかをお答えください。

・市キャラクターの統一的運用と関連グッズの販売促進について

本市では、合併 10 周年を記念して誕生したキャラクター「かいづっち」が長年にわたり市民に親しまれ、広報物やイベント等で活用されてきました。今年度は合併 20 周年の節目を迎え、新たなキャラクター「ヅイーカ」が誕生し、市の魅力発信の新たな象徴として期待されています。しかしながら、現状では市役所内の各課において、かいづっちとヅイーカのどちらを使用するのかが統一されておらず、広報物やイベントでの扱いにばらつきが見られます。市民からも「どちらが正式なのか分からない」「使い分けの意図が伝わらない」といった声が寄せられており、キャラクターの位置づけや今後の展開方針について整理が求められます。

また、キャラクターを活用した市オリジナルグッズについても、かいづっちのポロシャツやフリース、新たに生涯繁盛のパーカーやブルゾンなどが受注生産で作成されていますが、市民への PR 不足もあり、購入の機会が限られている状況です。市役所職員には徐々に普及しているものの、市民が気軽に手に取れる環境が整っているとは言えません。今後、キャラクターを市民に身近に感じてもらい、まちの一体感や愛着を高めるためには、購入しやすい仕組みづくりが不可欠であると考えます。アンテナショップ等での常設販売や、イベント時の販売強化など、より積極的な展開が求められます。

キャラクターは自治体のブランド力向上、市民参加の促進、地域経済の活性化にも寄与し得る重要な資源です。だからこそ、行政として明確な戦略を持ち、統一的かつ効果的に活用していく必要があります。

そこで以下についておたずねします。

1. かいづっちとヅイーカの今後の活用方針について、市としてどのように整理し、統一的な運用を図っていくのか。キャラクターを活用した市全体のブランド戦略をお答えください
2. キャラクターを活用した市オリジナルグッズについて、市民が購入しやすい環境整備をどのように進めていくのか。アンテナショップ等での常設販売など、具体的な取り組みの検討状況はどうか。